

4年度園小交流（小学校へ参観）訪問後アンケート①

1 小学校へ訪問した感想を記入ください。

（よかった点、気づいたところ、疑問に思ったところ、感想等）

- 小学校の先生の丁寧な指導と言葉がけ、声の大きさ、聞き取りやすさが良かった。教室内の環境、整理整頓、子どもが集中しやすい環境が作られていたのが良かった。子ども一人一人の良い姿と向き合おうとされていることが見て分かった。
- 話を聞く姿勢など崩れやすい部分も見られたが、担任の先生からは、子ども自身の頑張っている様子や成長している部分の話が聞けたので嬉しかった。
- 異なる園から来ている子ども達にうまく対応されていると感じた。
- 先生が子どもたちのうれしくなるような声かけをたくさんされていました。
- 授業の様子や担任の先生の子どもへの接し方・声のかけ方等、5歳児担任として勉強になりました。
- 子どもたちが生き生きと授業を受けていた。
- 一人一人にとても丁寧にかかわっておられた。子ども達も「分からない」という事が言えるというクラスの雰囲気が伝わってきた。肯定的な評価・言葉がけが常にされていた。新しい環境において、その中で自分を表現しながら成長する子どもの姿に接することができ、嬉しく思いました。
- 先生がすることを伝えた後に“質問ありますか”と子ども達が聞ける場をもっていた。伝えたことを理解しているかの確認にもなっていた。丁寧に肯定的な声かけが良かった。発表時は、『聞く、話すだけ、書かない』等丁寧な説明で、子ども達も分かりやすいと感じた。
- 言葉の知識、自分の行動への判断力、思考の広がり、ものや人からの情報の選択など、社会性や感性が豊かになっていると感じました。
- 小学生になっても元気に過ごせている姿や、先生や友達と落ち着いて活動できている姿を見ることができて良かった。
- 授業中、先生の声に耳を傾け、話を一生懸命に聞こうとする様子が見られ、大勢の中でも指示を聞き行動している姿に成長を感じた。
- 子ども達が生き生きと授業に参加している姿、良い所を伸ばしていただいていると嬉しく思いました。
- 画像を使って丁寧な提示がなされていた。一人一人に対応されていた。
- 卒園した子ども達の元気な姿を見て嬉しく思いました。久しぶりに見学させていただき、新しく取り入れられている事や変化も多く、現状に触れることができて良かったです。
- 1. 2年生の学習の様子を見て最初に思ったのは、黒板の周りに視覚の刺激になるようなものを貼られていないという事でした。園の保育室の環境構成の参考にしたいです。
- 1年生の学習の様子がよく分かった。「次は何をするのか」の確認作業が徹底していた。
- 卒園した子ども達の元気な姿を見せていただき嬉しく思いました。真面目に授業に取り組む姿や、入学前に心配していた子ども達の頑張る姿に安心した。特に感じたことは「落ち着き」だった。
- 子ども達の気持ちが前に向くよう一人一人の姿を認めることで安心して学習に取り組み、発表も積極的に行っていた。
- 昨年度担任していた子たちの小学校での姿を見る事ができ、自分で考えて行動し、友達と話し合っ授業を受けている様子が見られ、成長を感じました。
- 算数の授業では、自分から進んで学習している様子が見られ、感心しました。

4年度園小交流（園へ参観）訪問後アンケート②

《園の保育を参観する視点》

- ① 子どもの興味や動き（活動）と保育者の支援について
- ② 集団保育や活動（保育者の導入の仕方、保育の展開、子どもとのやりとりや支援等）

1 園に訪問した感想を記入ください。（よかった点、気づいた、疑問、感想）

- 保育者が「待つ」ということを重視し、子どもの自主性を伸ばしておられた。生き生きとした活動が行われていた。
- 小学校で求められている「主体的・対話的で深い学び」につながる保育を実施されている。小学校では「ある程度基盤ができています」と考えて1年生の指導を計画しなければならない。
- 園での子どもたちの活動を知ることができた。保育者の言葉がけが優しく丁寧であった。活気がある中でも落ち着きのある子ども達が育っていることを感じた。
- 環境構成で、子ども達の学びに繋がるような遊び道具やしかけをされていたので、その部分を1年生の教室にも取り入れたいと思いました。
- 造形遊びを参観する中で、園児が自分のやりたいことを選び、最後までやりぬく姿を見て、乳幼児期からの自主性を身に付ける事の大切さを改めて実感した。園で大切にしている五感をフルに使って体験する活動を、小学校の生活科でも生かしていきたい。
- 造形活動では、0～5歳児すべての子ども達が、活動を楽しんでいるように見えました。
- 子ども達が、自分のしたいことを自分で選んで活動しているのが良かったです。時間に追われることなく楽しんでいました。小学校では、限られた時間で追われることが多いです。
- 小学校に入学してくる児童が積み重ねてきた園での活動を具体的にみる事ができたので、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。教室掲示や環境を見て、1年生の活動に必要な部分は取り入れると、新しい活動があっても戸惑うことは軽減されるかなと感じました。
- 水遊びの参観では、同じ水遊びでも様々な場が設定されており、園児の主体性や感性を育むために、良く考えられた場であったことに驚きました。
- 給食のメニューや食事時間、子ども同士のやり取りが見られたので良かった。去年の児童のことも、相談できた。
- ゆったりとして時間配分は、小学校にも必要だと感じた。細かい所に気配りされ、掲示物はアイデアがたくさんあった。
- 5歳児を中心に参観しました。園児同士で相談しながら活動したり、異年齢児に優しく接したりしているのを見て、心が育っているなど感じました。
- 子どもの実態や好みに合わせて活動を変えていたり、子どもの主体で活動したりしているところが多々あり、子ども達が一人一人とても楽しく過ごしていたのが素敵だなと思いました。
- 生き生きと活動している様子が印象的だった。場の設定も子どもたちの興味関心をひくもので、環境を整えて保育されていた。
- 異年齢の子ども達が一緒に活動できて、さらに水遊び、水鉄砲、野菜スタンプなど、自由に選べるのが、それぞれの子ども達のしたいことが思う存分できているなど感じました。
- 低学年の生活科で扱う野菜や昆虫を育てるなど、小学校につながるような内容だった。園児が訪問者に元気よく挨拶していた。
- 先生方の温かな保育のもと、子どもたちはのびのびと活動していた。
- 5歳児がどのような園での生活を送ってから、1年生に入学してくるのかイメージできたことが良かった。